

「吊るし飾り」の展示会

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

平成31年3月16日（土）17日（日）、品川区荏原第4地域センターで作品展を開催いたしました。会の目的は、タンスの奥で眠っている古着、端切れを有効活用することです。

会員は12名で日々、吊るし飾りの題材（動植物等を「モチーフ」）にした図柄を基にして、会員がそれぞれ、時には先生または生徒になって製作を行っています。この度、2年間の作品を集大成した吊るし飾り作品が完成し、その作品を展示発表する機会を得ることが出来ました。展示会には、約320名の近隣の方々の来訪を頂き大盛況でした。



作品の作り方の質問や、お互いに吊るし飾りを通しての懇親と意見の交換を行いました。引き続き、次の作品展を目標に楽しんで参ります。

以上、西中延三丁目町会代表の高橋静子さんにお書きいただきました。

平成31年3月22日

環境記者 中西義治

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

東八ツ山公園の桜

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

平成31年3月27日、東八ツ山公園の桜は七分咲きでした。東八ツ山公園は品川区と港区にまたがっていて、子どもから大人までさまざまな施設を利用できる公園です。桜の名所としても知られています。



公園内には花見のための場所取り禁止という掲示があり、鑑賞する人がいませんでした。これはこれでさみしい感じがします。桜の木も無視された気分で、元気がなく見えます。花見をする人のマナーが問われる今日、やむを得ないかと思いますが。



平成31年3月29日

環境記者 小野文義

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

本格的な春がやってきました

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

日当たりのよい場所にはタンポポが咲いてきましたね。今の時期（3～4月）野原や道端に生える黄色いタンポポを見ると、本格的な春の訪れを感じます。

庭の落の臺（フキノトウ）を取り忘れていて、花が咲く一歩手前でした。切り花にして仏壇に飾り、残りはてんぷらとフキ味噌にしたら美味かったです。

フキノトウは日本原産の山菜で、全国の山野に自生しています。こちら春の到来を感じさせますが、山菜として日本料理には欠かせない食材ですね。



平成31年3月29日

環境記者 高塚 純江

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

品川区内の桜開花状況（3月27日）

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

3月27日（水）、東京（靖国神社の標本木）で桜満開の報道があり、東品川海上公園内にある東品川ポンプ所屋上庭園に行ってきました。まだ桜の花は満開でなく、五分咲き位で満開にはもうちょっとの感じでした。枝垂桜の花はもう少しで開花の感じで、此処の桜はこれからが見頃の感じです。今日は家族連れも多く、満開ではないものの楽しんでいる様でした。



それと

例年通り、青物横丁駅前商店街の道路際の一本の桜は今年も無事に開花し、こちらもう少しで満開というところでした。

次回は満開の状況をお知らせしたいと思います。



平成31年3月28日

環境記者 青野 良平

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月02日

品川区内の桜開花状況（平成31年4月1日）

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月04日

3月27日から4月1日の5日間で品川区内の東品川海上公園の桜が満開になりました。改めて満開の桜の状況です。ちょうど目黒川の海への出口のところですよ。

車の危険も無い公園なので小さな子供も連れて来る家族連れも多いのがこの公園の特徴のようです。



それと例年の様に青物横丁駅前商店街の道路際の一本の桜 今年も無事に開花、こちらもう少しで満開という所でした。



平成31年4月2日
環境記者 青野 良平

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年04月04日

【桜 2019】

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月05日



関東地方で見る「ソメイヨシノ」は、やはり平成最後の桜となるのですね。
3月末から満開になった数か所の桜を見に行ってきました。

【しながわ花海道】3月29日（金）

花海道は、菜の花が一部咲き終え、実をつけており、菜の花と桜のコラボレーションを撮ることはできませんでした。



菜の花が場所によってわずかですが残っていました(*^-^*)



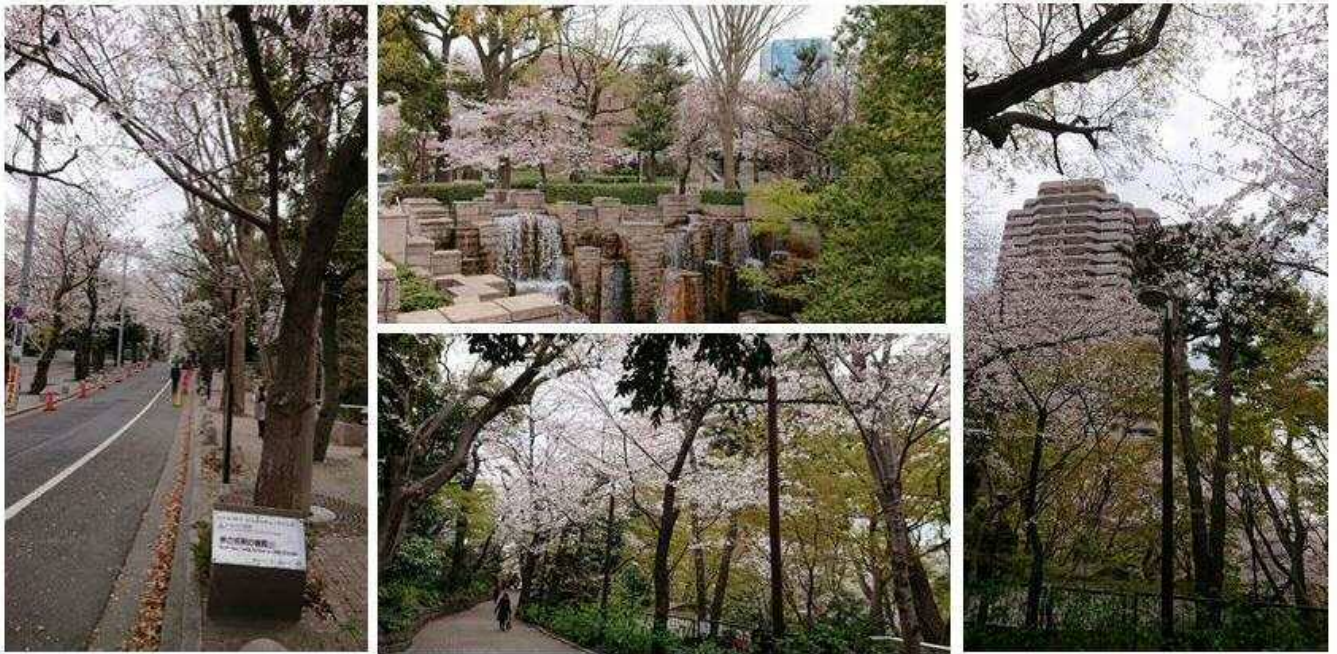
【しながわ区民公園 桜の広場】

3月31日（日） 16℃、天気も良くお花見日和で、たくさんの方が満開の桜の下でお花見を楽しんでいました
♪・・・



【御殿山】4月2日（火）

江戸時代に桜の名所として親しまれていた歴史のある場所です。品川女子学院脇の御殿山通りを登りきると御殿山庭園、トラストシティ、原美術館（2020年12月閉館予定、大使館などがあります。



4月1日は新元号「令和」発表！ ホテル主催の新元号発表と同時に書かれた提灯や色とりどりの和傘が桜と一緒に華やかに咲いていました。



御殿山から大崎に通る抜ける小さな公園です。

ビルをバックに咲いた桜、ヒヨドリかしら？ 桜をついばんでいました(*^-^*)



平成31年4月3日

環境記者 真壁美枝子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年04月05日

八潮桜日記～平成31年4月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月05日

平成最後の桜、東京は開花日が3月21日、満開日が3月27日、そして新元号・令和が発表された4月1日からの寒波で今週末までお花見ができそうです。八潮団地には様々な種類の桜があり、桜並木と一言で片付けられない面白さがあります。そんな桜たちの花開く様子を、撮影してみました。

3月20日	3月23日	3月25日
		
3月27日	3月29日	3月31日
		

4月2日

4月3日



3月29日から4月3日まではこのほかにも写真に収めてみました。





一段めは区民公園で、次の三枚は八潮の桜のある風景、そして最後の段の左側は区民公園北口の紅葉、右側は青物横丁から大井町へ登る仙台坂の手前、旧東海道の角で見つけた朝の夜桜（シャッター）です。

平成31年4月3日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月05日

さくらめぐり

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月08日

花曇りのはっきりしない日が続きました4月はじめ、少し寒さを感じながら、久しぶりの青空に魅せられ、桜の花を求めて歩いてみました。



八潮団地の桜



大井ふ頭中央海浜公園では、皆さんのんびりと歩きながら満開の桜を愛でたり、写真を撮ったり、花の下では敷物の上で「花より団子」を楽しみ盛り上がっていました。野球場では金属バットの音と声援の音が、春の空に響いていました。



大井ふ頭中央海浜公園の桜



満開のニュースが出てから数日経ちましたが、低気圧の通過等で気温が低かった日々が続き、開花が進まなかったのでしょうか・・・？ 枝先にはまだまだ蕾もあり、今年も例年通りのお花見が楽しめそうです。

平成31年4月5日

環境記者 石田雅子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年04月08日

新元号『令和』を祝う 桜

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月08日

私が御殿山公園を訪れたのは、新元号が発表された次の日の4月2日の午後でした。ちょうどさくら祭りが行われており、満開の桜の下に「令和」と墨で書かれた提灯が立てられていました。枝先も春風にゆられ、まるでお祝いしているかのような妖艶な桜の姿を愛でる事が出来ました。



大勢の花見見物の人たちの中で、私も思わず1枚。平成最後にふさわしい桜。心に残る素晴らしい思い出となりました。

平成31年4月5日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月08日

レンゲソウをご覧ください

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月12日

大崎ゆうゆうプラザのプランターから、こぼれるように咲いたレンゲソウを見て頂きたくて。3年連続で挑戦しましたが、去年は、はかなくも.....残念な結果に。しかし今年は見事な紅紫色のレンゲソウを見せてくれました！アゲハ蝶やダイミョウセセリ（蝶の一種）が甘い蜜を吸いにきます。

レンゲソウは中国原産で、日本にはかなり古くに渡来し、「蓮（はす）」の花に似た草というのが名の由来だそうです。マメ科・紫雲英属（ゲンゲ属）

開花時期はちょうど今頃4月初めから5月上旬ころまでです。



平成31年4月3日

環境記者 高塚純江

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月12日

しながわ運河まつり会場の桜

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月13日

2019年4月6日（土）13：00、しながわ運河まつり会場の桜です。
天王洲公園の桜です。



花見も陸と豪華クルーザーで川からとここでは楽しめます。



しながわ運河まつりメイン会場である東品川海上公園の桜です。



大勢の来場者でにぎわっていました。



平成31年4月8日
環境記者 小野 義文

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月13日

大井埠頭中央海浜公園スポーツの森「さくら広場」

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月14日

2019年4月6日（土）15：00 大井競馬場前駅を降りて勝島橋を渡って大井埠頭中央海浜公園スポーツの森「さくら広場」の桜をみしてきました。



広い園内には花見に大勢の人たちが楽しんでいました。



園内の桜の中で特に勢いを感じられた桜です。

平成31年4月8日

環境記者 小野 義文

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月14日

聖蹟公園の桜と花壇（4月3日）

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月15日



まだ少し寒い朝 8 時 30 分、綺麗な桜の前で記念撮影をしているひとがいました。



まだ開いていない桜もありました。

品川区の「みどりと花のボランティア」の活動で去年の12月に植えた草花も今満開です。



12/20



12/20



1/3

(前) → → 花の植え替え → → (後)

写真を拡大するとハボタンが生長し、花が咲いています。



平成31年4月5日
環境記者 小野 文義

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年04月15日

今年の桜も終わりに近づいています

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月16日

昨日（4月7日）も八潮の京浜運河・緑道公園の桜の下で、花より団子を楽しんでいる方がいました。雨の予報が出ていますので、そろそろ散り際に近づくのでしょうか・・・？

今日（4月8日）、テレビで「東京の桜が半分散っている」と言っていました。花吹雪もおつなものです。

東品川海上公園の桜



花海道の桜と菜の花

花海道では毎年、桜と菜の花のコラボがみられます。



平成31年4月8日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年04月16日

「花交差点の仲間たち」花壇の植替え

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年06月14日

日時：令和元年6月9日（日）9：00～11：00

参加者：78名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口）歩道花壇の植替えを行いました。
雨の心配がありましたが小雨がぱらつく程度で、植替え作業は40分程度で終了！

花苗は7種類

- ① ジニアプロフュージョン
- ② ペンタス
- ③ サルビア
- ④ メランポジウム
- ⑤ マリーゴールド
- ⑥ ニチニチソウ
- ⑦ トレニア・コリウス



今回も鈴ヶ森中学校生徒22名が参加し、7棟のマンションの方々と一緒に花苗を植えました。
地域のボランティアの皆さんに指導と見守りのご協力をいただきました。
東京国道事務所の方と大井警察署の方が立ち会い、事故もなく無事終えることが出来ました。
植替え後に参加した生徒に感想をききました。（7年生・8年生・9年生）

- ・ 植える高さ調整が難しかったが楽しかった ・ 気分転換になった、次回も参加したい
- ・ 中間テストがあるが頑張った ・ 最後の片づけで汚れた手袋洗いなど勉強になった
- ・ どのように育つか楽しみ 花壇を見にきたい



しながわ水族館国道入口集合！ 校長先生が点呼です(*^▽^*)♪



小学生も参加して
ますよ(^.^)♪



マリーゴールド



←日日草
←ペンタス



メランポジューム

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年06月14日

八潮 梅子黄(うめのみきなり) ～令和元年6月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年06月25日

いつの間にか、「蟪蛄生(かまきりしょうず)」から「腐草為螢(かれたるくさほたるとなる)」を過ぎて梅の実が黄ばんで熟す季節(「梅子黄」)になりました。今年の夏至は6月22日(例年、21～22日)。「乃東枯(なつかれくさかるる)」「菖蒲華(あやめはなさく)」「半夏生(はんげしょうず)」へと移ろうとしています。八潮の自然は、和暦よりも1週間早く動いたようです。先週は杏子も枇杷も黄色に熟し、ジャムに焼酎漬けに大忙し。そんな中で小さな発見!!! 「 」内は、七十二候で、他の読み方もあります。



日本ではお馴染みのガクアジサイ。花序(花の配列状態)の周辺部を縁取って見えるのは萼(ガク)が発達した装飾花です。なんと装飾花(ガク)が四隅から咲き始めています(左中の写真)。それにしても西洋アジサイはこんもり丸い形なのでどこから咲いても良さそうですが、花序は正方形あるいは長方形のようです。(一見、台形もあり) まだまだ、紫陽花を楽しめる季節です。皆さんも、ちょっと足を止めて観察してみてください。

くちなしの白い花が咲きはじめました。芳香(甘い香り)が風の乗って運ばれてきます。下記は5月の八潮の芳香あれこれです。来年の楽しみとしてご紹介します。一段目と三段目は、芳香の花たち。二段目と四段目はそれらの樹形と見つけた場所のヒントです。





令和元年6月19日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度
投稿日：2019年06月25日

わたくしの環境保全行動

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年06月25日

広報しながわ6月1日号の2ページ一面に「6月は環境月間です」という記事が載っていました。「環境のために何ができるかな？普段の生活を見直してみましよう」との呼びかけに、まずは一つ行動してみました。

記事の中ほどに「環境保全行動チェックリスト」として「環境のためにできる“やさしい”アクション」項目があります。まずはチェックをしてみました。

- 家電製品を使用しないときは、主電源を切るか、コンセントを抜く
- カーテン・ひさしなどを活用し、冷暖房の効果を高める
- エアコンや換気口のフィルターを定期的に掃除する
- 季節・天候に合わせてエアコン・冷蔵庫の設定温度を調整する
 - 冷蔵庫を開けている時間を短くする
- キッチン、洗面所、トイレなどで使うお湯の温度を低めに設定する
- 電気便座の設定温度を低くする
- 生ごみの水切りをする
- 排出ルールに従ってごみの分別を行い、資源リサイクルに協力する
- 買い物の際はマイバッグを持参し、過剰な包装を断る
- 食材を無駄にしないよう、食料品の買い方を工夫する
- 徒歩・自転車・公共交通機関などを利用する
 - アイドリングストップなど、エコドライブに努める
 - 学校や地域の美化活動や自然環境の保全活動などに積極的に参加・協力する
- 蛇口はこまめに閉め、流しっぱなしにしない
 - 照明をLEDに交換する
- 家電製品などは、省エネ性能の高いものを選択する

全17項目中13項目はクリア、残り4項目のうち冷蔵庫を開ける時間は1日の合計としてはかなり少ない方ですが、時々冷蔵庫から「プープー」と警告音を鳴らされます。改善の余地あり、ですね。エコドライブは乗用車を手放しましたので対象外。地域の美化活動・自然環境の保全活動は日曜開催が多く、日程調整できずに参加できていません。ただし、5月26日開催の「しながわECOフェスティバル2019」には参加できたので一歩前進。照明器具のLEDの交換は寿命切れ待ちが2箇所。まあまあ成績かなあ、なんて納得しましたが、もっともっと出来ることはありそうです。

実は我が家には、電気釜と電子レンジがありません。ご飯は土鍋、温めには蒸し器をよく使います。電気を使うかガスを使うかの違いかもしれませんが、おこげつきの炊きたてご飯と蒸し器を効率的に使っての温め料理も慣れるとなかなか良いものです。特に野菜は蒸すと旨味が出てくるし、量も食べられます。それぞれのお宅にそれぞれの工夫や「これって、結構イケる！」が隠れているのかもしれませんが。ちょっとした発想の転換や工夫が、人々を笑顔にし、環境にも優しい、となれば、やって見る価値大いにあり！そうですね。

<参考>

広報しながわ6月1日号

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kuseizyoho/kuseizyoho-koho/kuseizyoho-koho-kohoshinagawa/kuseizyoho-koho-kohoshinagawa-22/20190528110526.html>

令和元年6月24日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年06月25日

聖蹟公園花壇花植替え実施報告

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年06月27日

この活動は品川区が推進しております「みどりと花のボランティア活動」に、活動名「品川フラワーレンジャー」として参加しているものです。

2019年6月14日（金）14：00－15：00、聖蹟公園花壇の花植替えを行いました。



花植替え前の公園内の様子

■参加者

東京サラヤ(株)社員 4名

■活動の様子

花植替え前の作業で枯れた草木を取り除いて土を耕します。



花植え開始、花の配置を色など気にしながらバランス良く配置して植えていきます。



植え替えが終わりました。

暑い中大変でしたが、怪我もなく無事終了。お疲れ様でした。

花壇の中央に、来年品川区でのオリンピック・パラリンピック競技に関連した「品川区3競技応援キャラクター」の応援プレートを立てました。



令和元年6月25日

環境記者 小野文義

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年06月27日

暑一い！大井埠頭中央海浜公園

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月09日

2019年8月5日（月）16：00大井埠頭中央海浜公園の様子を紹介いたします。

■公園入り口



携帯電話で気温34℃と表示されているが、体感温度はもっと暑い、いやかなり暑い。

カラスは暑さのせいで今にも死にそうな顔をして喉の奥が見えるほど口を大きくあけて必死に体温調整をしている。人を気にする余裕もなくそばによってもこちらを見ようとしないう。今にも落ちてきそう。

■空を見ると



当日、大井埠頭の空を見上げるとこんな感じ。陽の熱線が強烈です。

公園内は暑過ぎて猫もカラスも一緒に日影で休んでいます。普通こんなことありえません。



■アブラゼミの大合唱。



暑さで、公園内には人がいませんが静かな森ではなくアブラゼミの大合唱でうるさい。ほかにももう少し昆虫がいないのか。カブトムシやクワガタがいたらラッキーなのだが……。せめてトンボだけでも見られるかなと思いましたが、大きなスズメバチが飛んできて慌てて逃げたりしてなかなか見られませんでした。そんななか彫刻広場でナミアゲハを見ました。高いところを飛んでいたため写真はこれが精一杯でした。



足元を見降ろすとシジミチョウが。というように本当に虫がいない。暑さで葉蔭に隠れているのか？



■川岸の様子

川岸に移動してみると、ハゼ釣りをしている子がいました。なんだかいい風景です。



遠くに干潟で羽休めをしている鷗が見えます。足元には沢蟹がえさをつまんでいます。



夕方五時、こちら暑さで体調が悪くならないうちに引き上げます。

令和元年8月6日
環境記者 小野 文義

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月09日

八潮昆虫日記 ～8月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月21日

昨年度は花を中心に八潮を探索しました。今年は動くものも捉えてみることにしました。なぜって、今年は、カミキリムシに何回も出会いました。子どもの頃に見て以来かもしれません。動くもの、とはいうものの、簡単にカメラに収まってくれません。そこで待ち時間に見つけた動かないものも集めてみました。是非、お楽しみください。



上段左から、カミキリムシ・コガネムシ・クサカゲロウ

下段左から、イチモンジセセリ・モンシロチョウ・キョウチクトウ



次は、エンジュの樹と花びらの絨毯・サルスベリ・シオカラトンボ

最後は、蟬の抜け殻。初めて見つけたこの土色の抜け殻は、「ニイニイゼミ」のものらしい。八潮の夏のBGM、今年も蝉たちが朝から元気に鳴いています。



<参考>

クサカゲロウ <https://kurashi-no.jp/l0018271>

イチモンジセセリ <https://butterfly-garden.jp/doc/butterfly.php>

セミの抜け殻

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/shizen/kara.html>

http://www.hirahaku.jp/web_yomimono/tantei/smmiwake.html

令和元年8月15日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年08月21日

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月21日

涼しい7月も梅雨が明けた途端、猛暑・酷暑が続いています。熱中症予防にと、避暑地・図書館へ通う日が増えています。そんな図書館の子どものコーナーで課題図書を発見。夏休み最終日に、泣きべそをかきながら本を読み、眠たい目にメンソレータムを近づけて、感想文を綴った頃からすでに半世紀が経ちました。懐かしさとともにちょっと挑戦してみようかなっ！という軽い気持ちで大人の新刊コーナーへ。待っていましたとばかりに、「環境」と名のつく本が二冊も。

「地球環境 陸・海の生態系と人の将来」

「季刊環境ビジネス2019年夏号 2050年脱炭素社会の実現へ」

「地球環境 陸・海の生態系と人の将来」

まず、「森川海と人プロジェクト 気仙川・広田湾調査 各年度の調査を写真で振り返る。」とのタイトルで陸前高田市広田湾の2019年航空写真から2015年まで遡る写真が続いています。ぷっくりとしていない牡蠣や中身が詰まっていない雲丹の写真に、市場に出まわっているのはどこのもの??

まえがきでこんなことが書かれていました。「すごいスピードで人類は、地球環境を破壊している。これまでの四五億年の地球の歴史で生命が誕生したのは四二億年前から三八億年前で、この間に生物の大規模な絶滅は五回あった。」「現生人類が誕生したのが、約二十万年前と言われる。その間に人類は数多くの生物種を滅ぼした。」「人類による生物の絶滅はとても近いといわれる」「それを回避するのはまた人類しかいない。」ここに二冊の本が紹介されています。

「The Sixth Extinction」エリザベス・コルバート著

「Half-Earth」O.J.ウィルソン著

序章・直面している地球環境問題では、復興事業における環境評価を伴わない、防災という名目での堤防作り・河川工事について触れています。自然が持っている自浄作用・循環機能が失われてしまった、これが新たな課題を作っていく、との示唆を感じさせられます。第三章・陸・海の生態系の現状と課題では、日本の陸上生態系の二度の変化について述べています。一度目は水田稲作を中心とした農耕の発達による「里山二次生態系」、二度目は現在進行中の化石燃料を含む資源等の調達を基礎にしたグローバルな生産・消費社会化。前者は、地域の自然・生態系内でそれを活かした生活をする事で成立・維持されてきた江戸時代まで。後者は、陸域全体から海岸・沿岸域さらには海域全体に影響が及んでいて、少子化の進行と自然・生態系の姿を知らない若年層の増大・それらの維持管理ノウハウなどの社会的喪失が「利用されず放置された自然・生態系」と人の利用する「完全管理の目的生物だけがいる人工空間」への道を早めるとの危機感を述べています。

広田湾調査だけでなく、日本全国での環境保全活動の紹介に続いて、海外での取り組みも紹介されています。後記の手前に載っていたコラム「スタインベックの故郷カリフォルニア」は私の興味をそそりました。スタインベックは、生物学者のエドワード・リケットをメンターとし、彼の生物研究所を手伝っていたそうです。「怒りの葡萄」「エデンの東」「缶詰横丁」それぞれのモデルが誰であったかの解説は、モンレー市の街並やモンレー湾の生態系の再生に尽くしていた彼の足跡と共に、わたくしの課題図書を増やしてしまいました。

「季刊環境ビジネス2019年夏号 2050年脱炭素社会の実現へ」

大特集「2020環境都市へ生まれ変わる東京」は128ページのうち24ページを割いての特集。内容はオリンピック・パラリンピックの暑さ対策・多言語対応・地下鉄の取り組み・トイレ整備・選手村とニュータウン・健康リスク・ゴミ問題、最後に訪日客への情報発信と多岐に渡っています。例えば、暑さ対策。クールスポットとして自由に入出できる施設やミスト設備を設置し、競技会場周辺車道を遮熱性舗装し、街路樹の樹形を日射しを遮るように計画的に剪定し、競技会場等には仮設水飲み場を設置する計画のようです。

東京モノレール線大井競馬場前駅および京浜急行線立会川駅から八潮に隣接するホッケー会場までの経路についてみると、現時点では「なぎさ会館」横の公衆トイレ前にミスト設備の工事を行っているだけ。来年の夏までに間に合うのでしょうか？また、ゴミ問題も猛暑と合わせるとペットボトルの急増必死。分別区分もスタジアム系とコンベンション系と鉄道会社系施設でゴミ箱いろいろ。23区内でも区ごとに区分は異なる。あちらこちらで混乱しないのかなあ？と考えてしまいます。ただ、好事例としてNPO法人iPledgeがフジロックフェスティバルなどの大きなイベントで行っているエコステーション（大きくわかりやすいごみ箱）とごみ資源の分別ナビゲートの取り組みが紹介されていました。

その他に目をとめた記事として、資源循環先進国オランダのサーキュラー・エコノミー。国土が狭く、人口密集率が高く、中世の頃から洪水と戦ってきたオランダ。天然資源も乏しいということから、政府は2030年までに持続可能でない一次原材料（鉱物・化石燃料・金属）の使用を半減し、2050年までにサーキュラー・エコノミー（循環型経済）を100%実現すると宣言したそうです。中心となる財団のオフィスは築125年の農家のリノベーション。事例として女性3人で設立したスタートアップThe Great Bubble Barrierが紹介されています。運河や川底にゴム製チューブを固定し泡を出してカーテンを作り、ごみをせき止めるアイデアを実用化したそうです。この水泡カーテン、実はタンカー事故などでオイル流出防止や海底油田開発での水中騒音軽減のために使われていたもの。とにかくたくさんの方の専門家たちに話を聞いたそうです。

海洋プラスチックごみ問題については、もう一つ「丸ごと食べてしまえる食品パッケージOoho!」という記事がありました。原料は「褐藻」と総称される多細胞藻類で海洋に大量に存在する海藻。スペイン人のロドリゴとフランス人のピエールが試作品開発に成功し、2014年にロンドンで起業したのが、Skipping Rocks Lab。クラウドファンディングを始め、助成金で資金を調達。2018年夏、Sky Ocean Ventureから追加投資を受け、マッカーサー財団やシュミッツ財団が出資する3カ年計画「New Plastic Economy」でCircular Design Challenge賞を受賞してビジネスを拡充中のスタートアップ企業だそうです。

今回、期せずして二冊の本を手に取りましたが、私たちを取り巻く環境は人によって課題解決のために更に課題を作ってしまう現実について考えさせられました。しかし、もう一方では、自然がもともと持っている力を人の知恵で引き出して利用する方法も探り、自然との調和を図ろうとする人々のアイデアとその可能性を垣間見ることもしました。二冊の本の感想文ならぬ紹介文になってしまいましたが、ものの見方・捉え方について考えさせられた夏となりました。

<参考図書>

「地球環境 陸・海の生態系と人の将来」

著者：小松正之、望月賢二、堀口昭蔵、中村智子
初版発行：2019/07/25 発行所：株式会社雄山閣

「季刊環境ビジネス2019年夏号 2050年脱炭素社会の実現へ」

発行元：事業構想大学院大学 出版部
発行：2019/07/01 発行元：株式会社日本ビジネス出版

令和元年8月16日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月21日

真夏が過ぎた公園の虫たち

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月27日



8月18日(日)、所沢航空記念公園に出かけました。毎年暑さが増していると感じるのは私だけではないと思います。

今年8月(1~18日)の東京は最高気温が35°C前後の日が多く、最高気温の平均は34.5°Cで、所沢もほぼ同じでした。

真夏が過ぎたとはいえ、今日18日も非常に暑い1日でしたが、虫たちは元気そうでした。

気温31°C、薄曇りのもとで園内を散歩しながら樹液に集まる昆虫たちを観察しました。



●カブトムシ

みなさんよくご存じの通りです。

●コアオハナムグリ (コガネムシ科)

大きさは1~1.5cmで、5-10月に日本全国で見ることができます。

林の周辺や原っぱで見られ、白っぽい花のまわりを飛び周り、花粉を食べます。

●蝶 (アカボシゴマダラ) 外来種

中国大陸から入ってきたと考えられる外来種で、ほぼ関東全域に分布しているそうです。

夏型と春型で翅(ハネ)の色に違いがあります。

令和元年8月22日

環境記者 小野 文義

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年08月27日

東八潮緑道公園『夏の終わりの蝉しぐれ』

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月06日

梅雨がなかなか明けず、蝉の声も聞こえなかったので、今年は蝉が鳴かないのかと思っていましたら、『梅雨明け宣言』と同時に少しずつ鳴き始め、いつもの年と変わらずの「蝉しぐれ」にほっと致しました。

8月も終わりに近づいた27日、蝉たちの姿が少なくなったかなあ～思いながら、少し早起きをし、東八潮緑道公園を歩いてみました。公園の木々も歴史を重ね、幹も太く、高さも高くなり、大きな枝は深緑の葉っぱを生い茂らせ、蝉の姿は見えないけど、ジージージー・ミンミンミンミンと元気な鳴き声は、まるで森の合唱団のような『蝉しぐれ』でした。蝉の声を頼りにそうっと近づくと、鳴くのを止めて他の所へ飛んで行ってしまう、望遠レンズを使いながら、葉っぱや枝から『蝉』の姿を探すのに苦労をしましたが、羽を広げて、お腹を膨らませ、大声で力いっぱい鳴く蝉たちに、元気をもらいました。



蝉の幼虫が土の中から出て、木に登り、脱皮するのは何時頃の事なのでしょう？
蝉たちの「抜け殻」もたくさん見つける事が出来ました。



「ツクツクボウシ」がホーシンチョコチョコ、ホーシンチョコチョコと鳴く声やカナカナカナと鳴く『ひぐらし』の声も混じっていて、秋の気配を感じましたね。

桜の木の下に腰かけ、「蝉しぐれ」に耳を澄まし、朝の涼しい風に吹かれ、大きく深呼吸をした時、自分も自然の一部に生活している事を改めて確認した気がいたします。



令和元年9月2日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月06日

しながわオリパラ暑さ対策

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月17日

先月、環境記者レポート「わたくしの課題図書」で、「季刊環境ビジネス2019年夏号／大特集“2020環境都市へ生まれ変わる東京”」をご紹介しました。その際にオリンピックのホッケー会場周辺について触れましたが、後日調べてわかったことがありますので、ご報告します。

まず「なぎさ会館」横の公衆トイレ前のミスト設備ですが、これは期間限定の試験的設置とのことで、すでに撤去されていました。次に道路の暑さ対策。広報しながわ8月1日号に「この道は世界につづく ゆめとびら／8月は道路ふれあい月間です」という、道路課と土木管理課の特集記事が掲載されていました。遮熱性舗装の写真と記事も載っていたので、道路課道路維持担当へ問い合わせしてみました。

この道は 世界につづく ゆめとびら
8月は道路ふれあい月間です

毎年8月は「道路ふれあい月間」、8月10日は「道の日」です。区では、道路を利用する皆さんに、道路の役割や重要性を再認識し、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくため、道路の正しい利用の啓発などの取り組みを行っています。

問い合わせ 道路課 (☎5742-6548 Fax5742-6886)
土木管理課 (☎5742-6582 Fax5742-6887)

道路はきれいに、安全に利用しましょう

道路は、私たちの毎日の生活を支えるために欠くことのできない大切な財産です。しかし、放置自転車や立て看板・商品陳列など道路の不正使用による通行妨害が後を絶ちません。この機会に道路の正しい利用について、もう一度考えてみましょう。

問い合わせ／土木管理課土木監察担当 (☎5742-6582 Fax5742-6887)

道路の適正利用のお願い

遮熱性舗装

遮熱性舗装

ヒートアイランド現象の緩和に向けて

遮熱性舗装とは、遮熱性樹脂をアスファルト舗装面に塗布することで、近赤外線を高反射して舗装路面の温度の上昇を抑制する舗装です。一般の舗装よりも表面温度の上昇を抑制でき、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

問い合わせ／道路課道路維持担当(工事) (☎5742-6790 Fax5742-6886)

Q①：勝島橋を通る車道は遮熱性舗装はされているのですか？

A①：今年度中に灰色の塗装をする予定です。

Q②：八潮橋の八潮団地側の歩道は最近、歩きやすくなりましたね？

A②：雨が染み込みやすく、滑りにくいタイルを敷きました。

Q③：立会川駅までの樹木に張り紙が巻きつけてありましたが？

A③：高い樹木は活かし、残りを低木に整備するための告知です。

立会川駅近辺では自転車ナビライン・ナビマークならぬ歩行者ナビライン・ナビマーク、および遮熱性舗装を発見(写真④)しました。



令和元年9月6日

環境記者 小滝静子

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年09月17日

しながわ水族館周辺の環境

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月17日

平成28年度から、しながわ区民公園内の改修工事が段階的に進められ、平成30年4月に北側ゾーンが終了、南側ゾーンのしながわ水族館周辺の改修が進んでいます。（令和2年7月完成予定）

海水を利用した人口湖「勝島の海」は半分くらい埋め立てて小さくなり、レストランの近くにあったシュロの木や休憩所もなくなり、改修後の「勝島の海」周辺の景色完成図が想像できませんが、来春を楽しみにしているところです。



令和元年 8月 25日撮影



「勝島の海」平成 29年 11月 19日撮影

令和元年8月26日

環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月17日

海の温暖化と汚れ

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年09月17日

(1) 海水の温暖化と生息する貝

月2回程、三浦半島や房総半島など近くの海に出かけています。今年特に感じたのは、房総半島の館山に行った時、紀伊半島以南に生息しているとされている貝が多数見られ、昨年、一昨年と比較しても更に温暖化が進んでいることを実感しました。まるで南紀へ行った時に見られる貝が関東地方でも見られるようになって来ているのです。



千葉県 館山の波佐間海岸

元々これらの海岸では、昔から南方種が打ち上がる海岸として貝を集める人には有名で、結構色々な人が来る場所です。貝仲間に聞いてみると、最近では以前見られなかった貝が多く上がっているとの話でした。ただ今年行った私の感想は今迄にない変化を感じたので、温暖化が更に加速しているのではと心配しています。写真では見にくいのですが、プラスチックごみの漂着も更に増えて来ているのを感じます。

(2) プラスチックごみが増えている海岸

貝の整理をしていて、1993年に能登半島の富来や増穂の浦で採取した砂の中から小さい貝を見つけました。その時にはプラスチックの小さい粒は全く無いと言える状況でした。しかし現在は三浦半島、房総半島、奄美、沖縄のどこの砂を持って来ても、小さなプラスチックのごみが含まれています。

日本で貝の打ち上がる海岸として、能登半島の増穂の浦、京都府の琴引浜、鎌倉の由比ガ浜が三大打上げの海岸と昔から言われています。今の増穂の浦の状況は判りませんが、京都の琴引浜や時々行く鎌倉の由比ガ浜も非常に多く、打ち上げられた貝ラインには小さなプラスチックのごみがたくさんあり、砂ごと貝を採るにも躊躇してしまう程です。

貝が打ち上がる場所はやはり漂着ごみも多いようで、この傾向は奄美、沖縄でも貝の打上の多い所はごみの打ち上げも多く見られます。写真は今年5月に行った沖縄 西表島の状況です、観光ではないので人の行かない場所に行く事が多いのですがこんなにもとびっきりさせられました。

いずれも沖縄県西表島海岸です。



プラスチックごみが意外に多かったのが西表島の海岸ですが、風向きや潮流によりきれいな海岸もありました。ごみは特定の場所に塊りとなって漂着しており、この海岸ではほとんどが外国語表記でした。温暖化と海の汚れと異常気象、未来の子供たちへの影響が心配です。

令和元年9月5日

環境記者 青野 良平

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年09月17日

第37回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2019年10月02日

令和元年9月20日(金)、第37回環境記者情報交換会が7名の環境記者のご出席のもと行われました。令和最初の会合となります。環境記者の皆さんから投稿された記事について日頃の活動の様子、そして興味を持っていらっしゃる環境に関する事柄について、それぞれご報告いただきました。



青野さんは月に2回ほど関東近辺の海に出かけていて、今年特に感じたのは、海の「温暖化」と「汚れ」だそうです。紀伊半島以南に見られる貝が関東地方でも見られるようになって来ていて一段と温暖化が進んでいることを実感されたそうです。「汚れ」は漂着ごみがたくさん打ち上げられているのと、小さなプラスチックごみが砂にたくさん混じっていてびっくりされたそうです。

* 『海の温暖化と汚れ』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4249>

真壁さんは「花交差点の仲間たち」というボランティアグループで、近隣の歩道の清掃と花壇の整備を行っていて、毎回その活動報告を記事にしています。

今回、もう一つお話いただいたのは、品川区民公園内の改修工事です。その工事を日々観察するのが興味深くなって楽しんでいらっしゃるとのことでした。

* 『しながわ水族館周辺の環境』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4245>

小野さんは東京サラヤ株式会社の方で、社員の有志のみなさんと「品川フラワーレンジャー」として年数回、聖蹟公園花壇で清掃と整備を行っていて、毎回活動報告を記事に書いていただいています。品川宿まちづくり活動の行灯プロジェクトにも参加されています。

今回は温暖化が進んでいると思われる現状、大井ふ頭中央海浜公園の様子のお話を伺いました。暑すぎてとんぼなどの昆虫がいない、猫、カラスなどが一緒に日影で休んでいるなど異常を目撃されたそうです。

* 『暑ーい！大井ふ頭中央海浜公園』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4139>

石田さんはいつも八潮のまわりの四季の移り変わりなどを丁寧に記事にしてくださいます。今回は春の桜のレポートに加えて蝉の記事を投稿してくださいました。望遠レンズを使って力いっぱい鳴く蝉の写真満載です。

* 『東八潮緑道公園「夏の終わりの蝉しぐれ」』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4219>

新居崎さんはもともと農業記者で、福島県南相馬市に農地を持っていて野菜やしいたけを育てていらっしゃいます。しかし、猛暑と雨不足でゴーヤ以外の野菜は育たず、しいたけも風評被害などでなかなか難しいというお話をされました。

小滝さんはいつも環境に関する幅広い題材から記事を投稿してくださいます。今回も桜をはじめとする植物、環境保全、昆虫、読書、そして暑さ対策などバラエティに富んだものでした。

* 『しながわオリパラ暑さ対策』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4236>

馬淵さんは前回から記者登録をされ、今回が2回目のご参加です。この夏は夏バテとの戦いで記事を書くことがきでなかったということで、残念でした。しかし「世界の巨木」と言う講座に参加していただきました。その講師の方に感銘を受けたということで、それについてお話いただきました。

今回は出席されなかった中西さん、高塚さんも以下の記事の投稿をいただきました。

- * 『「吊るし飾り」の展示会』
- * 『本格的な春がやってきました』
- * 『レンゲソウをご覧ください』

ここに紹介できなかった記事は環境情報活動センターのホームページでご覧になれます。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=20>

カテゴリ : ◆情報交換会

投稿日 : 2019年10月02日

【緊急レポート】台風15号と停電対応

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月07日

9月12日（木）22:30時点で経験したことを書き留めたレポートです。私がいた千葉県袖ケ浦市も台風15号の暴風被害とその後の大停電でかなり深刻な影響を受けました。

- ・袖ケ浦の当地の停電復旧は9月11日夜9時半でした。
- ・シャットダウンが9月9日（月）3:55でしたので、65時間半ほどのブラックアウトでした。その時点で木更津ではまだ停電継続中でした。
- ・水圧は弱まったものの断水はありませんでした。
- ・ガスはプロパンで乾電池着火式なのでガスレンジは通常使用できました。
- ・停電2日目から携帯電話docomoの電波は非常に不安定、停電解消時から徐々に回復といった状況でした。

私自身、台風通過時は東京に薬を取りに戻っていて、袖ケ浦にはおりませんでした。月曜正午にアクアラインが再開されたため袖ケ浦に戻ろうとしたものの湾岸線からのルートが閉鎖。仕方なく川崎大師方面から浮島入口を目指すも3時間以上の大渋滞！夕刻にようやく木更津、袖ケ浦の自社発電所にたどり着き、目視点検ができました。フェンスがぐにやりと曲げられたり、スチール収納庫がひしゃげて扉が吹き飛び、なかみが散乱したり、トタン板の引きちぎれたようなもの等、他所からの飛散物があちこちにあり、片づけに時間がかかりました。

当然、東電停電のため自社発電所も停止。電気的な被害があったのかは分からないものの、外観目視では問題はなさそうだったので、袖ケ浦の家に戻りました。途中の信号は全部無灯。交通整理の警察官なんていません。交差点でみんな一旦停止。譲り合って事故のないよう走行していました。信号機は、どれも本来の方向とは違った方に向いて、信号灯の上のカバーフードも引きちぎれているのにはショックを受けました。信号や電柱も柱という柱は斜めに傾き、家々の屋根やビニールハウスは破壊しつくされ、木更津・袖ケ浦境界は壮絶な光景でした。弊社発電所の気象観測器では、台風中心通過後の4時4分南南西の風、瞬間最大風速46m/s、平均風速でも35m/sを記録していましたので、このレベルの暴風にやられたものと思います。（ちなみに発電所の設計上の風圧荷重計算上、法令での当地基準風速は38m/sです）家の方は太陽電池の載っている母屋は瓦も飛ぶことなく無事でしたが、納屋の方は一部屋根が欠け、トタン板の外壁が東側を中心に吹き飛び、納屋の中の道具類が浸水していました。暗くなってきたので、調査、片づけはあとまわしにして、非常用電源のセットアップにかかりました。



あいかも発電所設備収納庫の扉飛散



倉庫屋根・壁面損壊



近隣の切れて落ちた電線

袖ケ浦の居宅には太陽光・再生鉛蓄電池充電システムがあり、別途備えていた2500Wのインバータを接続し、ドラムコードリールで電気を玄関経由で、ダイニングに引き込み、ここを宅内避難所に決めました。結局この電力で東京電力が停電中ずっとほぼ通常の生活を営めました。ダイニングのエアコンはつけっぱなし、テレビ、冷蔵庫、10WのLED投光器照明をドラムリールにつないだ延長コードでそれぞれ配線しなおして使えました。ダイニングと接続しているリビングルームのソファで涼みながら寝ることが

できました。



非常用電源になった
再生鉛蓄電池給電システム



もう1つの非常用電源
住宅用太陽光発電の自立運転
コンセント



非常用電源使用の停電初日の晩のダイニング
(LED10W投光器で天井照明)

2日目からは分電盤の主幹ブレーカを落とし、昼間は住宅太陽光発電PCS自立運転コンセントからの電力で、エアコン、冷蔵庫用のベースロード電力をとり、鉛蓄電池は独立の太陽電池からの充電にいそしみ、夜にそなえるという切り替えを行いました。自立運転のコンセントや蓄電池電源につながっているドラムリールのコンセントとダイニングルームの壁面コンセントを、両端がオス=オスの自作ケーブルで接続してやり、宅内配線そのものを利用できるようにしました。(コンセントの穴がある方をメス、差し込む方の金属 端子板2枚が突き出ているプラグの方をオスと表現) これでエアコンも冷蔵庫も元々接続していたコンセントに差し込んだままで使えます。プラグがない外置きの井戸水ポンプまで使用可能となりました。このケーブルプラグを、系統が違う壁面コンセントにつなぎかえることで、別室のプロパン湯沸かし器、洗濯機などまで使えるようになりました。この自作ケーブルでの宅内配線利用というのは絶大な効果がありました。ドラムリールにつないで延長コードで家電製品のプラグを接続するのにも、長さや数に限界があったからです。

単相3線式の分電盤は宅内に中性線をはさんで100Vの配線が2系統出ています。分電盤内の上下2系統のうち、どの部屋、どの器具がどちらの系統に属するのかきちんと表示、把握できていれば、それをもとに予備電源とどの宅内コンセントをつなげばいいのかが分かるわけです。以前からこうやればうまくいくのではないかと想定し、自作ケーブルを用意していましたが、それが実際に機能することが今回の被災で実証できました。非常事態で主幹ブレーカを確実にオフにして運用し、自己責任で行えればよいのではないかと考えます。(主幹ブレーカをオフにする理由は、屋外で復旧工事をしている作業員を感電させ、死傷事故につながる危険があるからです)



←ダイニングに引き込んだ
蓄電池系統と太陽光
発電自立運転系統の2つの
ドラムコードリール

両端がオス=オスの
自作ケーブル →



日中の屋外片づけ修理作業で汗だくになったあと、温水シャワーができたこと、汚れた作業着や下着を洗濯できたこと、熱帯夜に涼しい部屋で寝られたことがなにより有難かったです。ダイニングと続きのリビングがエアコンが効いているスペースで、十数人は収容可能という環境を確保できたために2日目の午前中にはご近所さん、地区の顔役の方を訪れ、拙宅に冷房があること、携帯電話などの充電ができることを地区の連絡網で知らせてほしいとお願いに行きました。遠慮されて女性陣は来られませんでした。顔なじみの男性陣は携帯電話の充電がたら涼みに来てくれました。また、屋根貸しで車庫に太陽電池が載っている方が、「非常時に自立運転で電気を使っていよいよといわれているがどうすればいいかわからない」と相談に来られたので、現場に行って自立運転に切り替えてあげて、業務冷蔵庫に通電できたので大変喜ばれました。



停電3日目の昨日は、木更津の発電所のフェンスに設置しておいた非常時電源コンセント（遠隔監視装置用の太陽電池蓄電池独立電源からの常時給電）が使えるかと、懇意にしているご近所さんから電話を貰いました。確認しに行ったところ問題なく通電していたので、携帯を2台、満充電にすることが出来とても喜んでもらえました。こういうときのために備えていた機能がちゃんと発揮できて胸をなでおろす思いです。

鉛蓄電池は1日だいたい5kWhくらいを消費し、天気が良かったのでその減った分をちょうど太陽電池で充電でき、それを繰り返した計算です。エコロジア第一発電所は近くなので復旧エリアに入り、今朝から無事発電復帰したことが確認できました。もちろん住宅太陽光も売電モードに復帰。

木更津の第二発電所エリアはまだ停電復旧できていなかったため、他のご近所さんにも口コミで前述の非常時電源コンセントのことが伝わり、近所の農家さんからお礼にとれたてのキュウリなどをいただくなど有難い交流ができました。

皆さんのお困りの共通項は、冷蔵庫が使えず食材がだめになっていくこと、情報取得や連絡手段の携帯の電池が切れてしまい孤立すること、充電しようにも公的施設の充電場所はすごく混雑していること、それになにより暑くて寝られないことでした。商店も、飲食店も、ガソリンスタンドも全く営業できないというのもこれまで経験したことのない事態です。

「気候変動」は、いまや「気候危機」と表現されることもあります。そしてそれは近い将来に到来するかもしれないという悠長なものではなく、すでにその時代に突入してしまっていることを今回再認識しました。

電気が長時間ない生活がこれほど不自由や人命への危険をもたらすことを考えれば、せめて10軒に1件くらいは太陽光発電を中心とした非常時電源確保とそのシェアをコミュニティとして図ることで、随分苦しみが減るのではないかと感じます。

最後に

家中からかき集めた延長コードコンセント、そのうちの1つが古いもので、使用中一部の差込口の裏が発熱し焦げました。匂いで気が付いたからよかったものの発火の可能性もありました。電気は危険物であることを肝に銘じる必要があります。



令和元年9月19日
環境記者 林 彰一

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年10月07日

八潮彼岸花事情 ～10月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月18日

大型台風19号が過ぎ去った八潮。くっきりと青い富士山が姿を見せた朝、京浜運河沿いの緑道公園には台風15号の爪痕と同じくらいの木の枝や葉が散乱していました。「八潮昆虫日記～8月～」で登場したエンジュの樹も幹が裂けていました。たわわにつけた実が重すぎたようです。



ところで皆さん、彼岸花が思わぬところに咲いていて、びっくりしたことはありませんか？すでに八潮の彼岸花は花が枯れ、葉が伸びるのを待っているところ。今年の不思議現象は、ツツジの生垣から突然一輪の赤い彼岸花が咲いたこと。彼岸花は球根で増える植物だから、足がなければ、どこかへ移ることは出来ないはず。田んぼのあぜ道なら、雨で流れることはあるけれど・・・。

調べてみました。やはり、同じ疑問を持つ方はいるようです。結論としては、人や動物による土や球根自体の移動によるということ。その他にも楽しい知識を得ましたので、シェアします。

- 彼岸花は毎年分球して球根が増える
- 土壌が固かったり、浅いところでは地表に球根がせり上がる
- ある研究では30年余りの観察で1個の球根が926個に増えた
- 日本産の彼岸花は3倍体で種子はできないが、中国産は2倍体で種子ができる
- 別名には、曼珠沙華・シビトバナ・ハミズハナミズ・ユウレイバナ、欧米ではマジックリリー（何も無い地面から花茎のみ伸ばして花が咲く）
- ショウキラン・キツネノカミソリ・ナツズイセン・アマリリスも仲間
- 救荒植物として飢饉のときに球根のデンプンを食用（掘り下ろして水にさらす）として、有毒なアルカロイド成分による田畑のネズミ・モグラや土葬の野犬除けとして利用
- 細長い6枚の花びら（花被片）がそり返り、6本の雄しべと1本のめしべが長く突き出るが、実は結ばない
- 漢方では鱗茎を石蒜（せきさん）と呼び、去痰・腹膜炎・浮腫の薬

彼岸花の話なのに、写真を撮り損ねてしまいました。寂しい紙面を「最近の八潮風景」で締めますので、ご笑覧ください。

<p>ある日の 8:00 の空</p> 	<p>ある日の 11:00 の空</p> 	<p>ある日の 18:00 の空</p> 
<p>セイタカアワダチソウ</p> 	<p>キバナコスモス</p> 	<p>「八潮畔桜日記」の桜</p> 

<参考>

一般社団法人 日本植物整理学会サイト

https://jspp.org/hiroba/q_and_a/detail.html?id=1059&key=1059&target=number

書籍：「毒草・薬草辞典」 サイエンス・アイ新書

著者：船山信次 発行所：ソフトバンククリエイティブ株式会社

「ただ 生きようと 花は咲く」

著者：印南和磨 発行所：株式会社ルックナウ

令和1年10月13日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月18日

旧東海道品川宿まちづくり計画 『灯籠プロジェクト』活動報告

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年10月21日

主催：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

協賛：東京サラヤ株式会社、しながわ水辺の観光フェスタ実行委員会、

協力：なぎさの会、父親の会

2019年9月28日（土）しながわ宿場まつり一日目にあわせて品川宿交流館わきの路地に手作り灯籠を飾りました。

灯籠は手作りで区立台場小学校と区立城南第二小学校の二校の3年生と4年生が授業で作ってくれました。

作った灯籠は地元協議会や企業、団体と父親の会の協力がかざりました。

■目的

旧東海道地域で生活している住民や企業、諸団体が協働して景観と歴史をバランスよく守りながら、住みよい街づくりを未来ある子どもたちへ引き継ぎたいという思いで行っております。

▼品川宿交流館建屋右側路地に置いた灯篭。夕方陽が落ちるにつれて色鮮やかになっていく。



▼自分の作品を見に来る子どもたちの姿とそれを見守る協議会の人たち。



▼夜になると家族で見に来る人で少しずつ賑やかになってきました。



▼夜 8 時、大勢の人に来ていただき協議会の人達も「大成功の声」、無事終わってほっといたしました。



10月秋の運河祭りでも展示予定です。

令和元年10月4日
環境記者 小野義文

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月21日

太陽光発電の「卒FIT」が目前に迫る

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月23日

「うちは太陽光発電なんてやってないから関係ない」とおっしゃる方も、環境問題に密接に絡む自然エネルギー普及の話、社会勉強として読んでいただければ幸いです。

前回3月の記事では、<太陽光発電の「卒FIT」って？>というタイトルで「卒FIT」の意味や概況を解説しました。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3894>

おさらすると、「FITとは、太陽光発電普及の支援目的で、住宅用太陽光発電の余剰電気（自宅でもって使いきれず余る電気）を国民（電気使用者）負担のもと、10年間固定の優遇価格で買い上げる」という、法律に基づく制度であり、その制度開始から10年が経過し、優遇価格の買上げが終了することが、卒FITと呼ばれるものだ」ということです。

住宅用太陽光発電は先行して2009年11月にこの制度が始まっていたから、この時点から同制度を利用した先発組のオーナーには、今度の11月分でのこの制度の適用が終わることになります。対象者には東京電力エナジーパートナー社から「再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了のご案内」という封書が届きます。先発組である私のところにも届きました。買取期間の満了日が2019年12月17日であることや、直近1年間の各月の売電実績情報などが記載されていました。

それでは、「卒FIT」オーナーの先発組は、11月以降はどうなるの？という話に移ります。

電力会社は、法律による固定価格での買取義務がなくなりますので、価格変更して買取を続けるのも、やめるのも自由になります。また従来の電力会社以外の会社も買取ってもいいことになります。

さて、卒FIT先発組の太陽光発電余剰電力の買手と取引条件がだいたい出揃ってきました。品川区の環境記者として、現時点で品川区民の卒FITオーナーが選べる買手事業者を買取単価が高い順にまとめたのが以下の表です。

品川区民卒FITオーナーの選択肢（1）（単純買取・対象者条件なし）

事業者名	サービス名称	買取単価(税込)	契約・支払い条件等
みんな電力	卒FIT買取プラットフォーム	13.5円/kWh	「顔の見える発電所」として登録する場合、先着500件、1年間限定の買取価格。それ以外は、8.5円/kWh。
スマートテック	スマートFIT	11.5円/kWh	買取開始から2年間、2年目以降は1年ごとの自動更新（契約終了の2ヶ月前までに申し出がない場合） 買取金額が10,000円(税込)超過毎に指定口座へ支払い。 買取金額が10,000円以下の場合は、翌月に自動繰越。
JXTGエネルギー	ENEOS 太陽光買取サービス	11.0円/kWh	単価適用期間は、2021年3月末日買取分までとし、2021年4月以降の買取単価は、改めて通知。半年分の買取料金を4、10月の末日までに、指定口座へ一括して支払い
東京ガス	太陽光買取プラン	9.5円/kWh	買取開始日から、買取開始日が属する年度（4月1日から翌年の3月31日までの期間）の末日まで（以降、1年毎自動更新）
丸紅ソーラートレーディング	SHARPプラン（通常買取）	9.5円/kWh	買取料金は6か月に1回、指定口座に振込
出光昭和シェル	スタンダード買取プラン	9.5円/kWh	契約期間は年度単位（毎年4月～翌3月）。初年度単価は2020年12月未までから、2021年3月未まで。登録の口座に6か月に1回振込。4～9月分を11月末、10～翌3月分を翌5月末支払い。解約違約金なし
エネット (取次:NTTスマイルエナジー)	エコめがね卒FIT Plus	9.3円/kWh	毎年6月・9月・12月・3月に指定の銀行口座に振り込み 買取料金が5,000円未満の場合は次回の振込月に繰越
千葉電力	通常買取	9.0円/kWh	先着200件。買取開始から2年間、2年目以降は自動更新。年2回振込
京葉ガス	余剰電力買取サービス	9.0円/kWh	年1回（年度ごと）に指定口座へ振込。なお、買取単価は2021年3月未までの単価であり、また今後見直しになる場合がある
中部電力	シンプルプラン	9.0円/kWh	半年に1回振込、WEB申込みのみ。紙の検針票廃止同意が条件
東北電力	シンプル買取サービス	9.0円/kWh	買取翌月に指定口座に振込み
秩父新電力	ちちぶEcoサポータープラン	プランA 8.7円/kWh プランB 8.5円/kWh +地域通貨3000円分	プランA…契約期間は契約日から当該年度の末日まで プランB…地域通貨3000円分は契約時のみで年間0.5円/kWh相当 契約期間は契約日から2年間 地域通貨は秩父市内約460店舗で利用可能
東京電力 エナジーパートナー	再エネ買取標準プラン	8.5円/kWh	現在東電へ売電中の場合、手続きは不要。自動的に新買取単価で買取りが継続。FIT買取期間満了日の翌日から満了日の翌日が属する年度（4月1日から翌年の3月31日までの期間）の末日まで（以降、1年毎の自動更新）
シェアリングエネルギー	余剰売電買取サービス	8.0円/kWh	関東エリア1,000棟（先着順）買取開始から2年、以降は1年毎の自動更新（初回は、契約締結～買取開始までの期間も契約期間に含む。契約期間中は所定の契約解除料あり）3か月ごとに支払い。支払額が5,000円未満の場合は、翌月繰越。

※ここに掲載している内容はあくまで概要です。詳細な情報は必ず各社のホームページ等でご確認ください。

2019/10/15現在の情報

さらに、事業者の提示する条件に当てはまるオーナーなら選択肢になる買手事業者は以下の通りです。

品川区民卒FITオーナーの選択肢(2) (単純買取・対象者条件あり その1)

事業者名	サービス名称	買取単価(税込)	対象者・支払い条件等
エネット (取次:NTTスマイルエナジー)	エネPlus	最大16円/kWh	「エコめがね卒FIT Plus」の契約者のうち、「ちくでんエコめがね」やパナソニック製「蓄電池・エコキュート等」の購入者。 毎年6月・9月・12月・3月にお客さま指定の銀行口座に振り込み。買取料金が5,000円未満の場合は次回の振込み月に繰り越し。
丸紅ソーラートレーディング	SHARPプラン 蓄電池プレミアム	13.5円/kWh	2019年7月1日以降に引き渡し完了し、シャープエネルギーソリューション株式会社が長期保証書を発行したシャープ製蓄電池の購入者
出光昭和シェル/ ソーラーフロンティア	でんきセット買取プラン	11.5円/kWh	契約期間は年度単位(毎年4月～翌3月)。初年度単価は2020年12月末までから、2021年3月末まで。買取料金を同月の電気料金より差し引いて精算。買取料金が電気料金を上回っていた場合登録の口座に6か月に1回振込。※4～9月分を11月末、10～翌3月分を翌5月末に支払い。解約違約金なし
東急パワーサプライ	太陽光余剰電力 買取サービス	10.9円/kWh	①東急でんき&ガスのでんきサービス契約者 ②買取サービスと同時に東急でんきへ申し込む方 ③Web申込み
東京ガス	太陽光 ずっともセットプラン	10.5円/kWh	「東京ガスの電気」契約者 買取開始日から、買取開始日が属する年度(4月1日から翌年の3月31日までの期間)の末日まで(以降、1年毎の自動更新)
中部電力	プレミアムプラン	10.0円/kWh	半年に1回振込 WEB申込みのみ。紙の検針票廃止同意が条件
千葉電力	《プレミアム買取A》 《プレミアム買取B》	10.0円/kWh 10.5円/kWh	《プレミアム買取A》は千葉電力の電力供給サービス利用者、グループ企業で太陽光発電を設置、または千葉県内の太陽光発電設備した方が対象。《プレミアム買取B》はグループ企業の蓄電池購入者買取開始から2年間。2年目以降は自動更新。年2回振込、10.5円の場合は年1回
京葉ガス	余剰電力買取サービス	9.5円/kWh※1 10.0円/kWh※2	※1 同社のガスまたは電気の利用者 ※2 同社のガスと電気の両方を利用者
まちエネ (MCリテールエナジー)	卒FIT買取サービス	9.0円/kWh	家庭・店舗向け電力サービス「まちエネ」契約者を対象 1年間保証し、毎月の電気料金と相殺して顧客に還元。買い取りの方が多い場合は、ローソンのポイントサービス「Pontaポイント」で還元。
生活クラブ生協	卒FIT・太陽光余剰電力 買取サービス	8.5円/kWh	生活クラブ組合員向け電力共同購入「生活クラブでんき」契約者対象

④ ※ここに掲載している内容はあくまで概要です。詳細な情報は必ず各社のホームページ等でご確認ください。

2019/10/15現在の情報

2

品川区民卒FITオーナーの選択肢(3) (単純買取・対象者条件あり その2)

事業者名	サービス名称	買取単価(税込)	対象者・支払い条件等
旭化成ホームズ	「へーベル電気」 太陽光発電買取サービス	ソーラー+蓄電池付 12.0円/kWh※ ソーラーのみ 10.0円/kWh	FIT満了となるへーベルハウスオーナーが対象。 ※蓄電池を、旭化成ホームズグループより購入・設置した場合で、自給自足運転モード(グリーンモード)への切替えが必要。 2020年3月末までの価格。その後、1年ごとに見直し。卸電力市場の動向の急変や、原料価格の急騰などで変更の場合は事前連絡
積水化学	電力「買売」サービス 「スマートハイムでんき」	ソーラー+蓄電池付 12.0円/kWh ソーラーのみ 9.0円/kWh	セキスイハイムオーナーのソーラー発電の余剰電力、セキスイハイム・セキスイファミエスで蓄電池・VtoHを購入・設置したオーナーが対象 2020年3月までにFITを終了するオーナーが対象で2021年3月までの買取価格。 買取サービスのみの場合、指定された口座に、3ヶ月分まとめて振込み。振込み月は1月、4月、7月、10月。 買取サービス、供給サービス両方の場合、3ヶ月分まとめた電気料金と買取料金を相殺精算(精算月:1月、4月、7月、10月)。
大和ハウス工業	ダイワハウスでんき	大和ハウス戸建住宅オーナー 11.5円/kWh 他社戸建住宅オーナー 10円/kWh	卒FIT電力買取と小売電力販売はセットでの契約。買取料金と電気料金は相殺して精算。初年度の買取価格は2019年11月～2020年3月の期間適用。翌年度は1年更新。契約満了の1か月前までに翌年度の買取価格を連絡し、特に申し出のない場合、自動更新。解約の際に解約金等はない。エリーパワー製などの家庭用リチウムイオン蓄電池システムを新規購入する場合は当初1年間23円/kWhで買取
積水ハウス	積水ハウスオーナー でんき「売電」	11.0円/kWh	積水ハウスのオーナーで、その現在の使用者対象。 料金の振込は、1年に1回 2022年3月以降は、再生可能エネルギーの環境価値などに応じて単価見直しをする場合がある。 申込みは、「売電のみ」「売電と買電の両方」のいずれかを選択可。 解約手数料、違約金なし。
住友林業	スミリンでんき	11.0円/kWh	戸建住宅製品「住友林業の家」オーナーが対象 2023年3月までの買取価格 住友林業は小売電気事業者の代理として、スミリンでんきの募集および申込手続きを行い、電力の供給およびPVの余剰電力買取は、小売電気事業者が行う。
豊田通商(トヨタホーム)	グローバルエンジニアリングの 太陽光電力買取サービス	9.5円/kWh	FIT満了となるトヨタホームオーナーが対象。

④ ※ここに掲載している内容はあくまで概要です。詳細な情報は必ず各社のホームページ等でご確認ください。

2019/10/15現在の情報

3

面白いところで、利益追求ではなく、企業や自治体等の団体を応援し返礼品を受け取るふると納税みたいなのも、純粋に寄付するという仕組みを用意している事業者もいます。

品川区民卒FITオーナーの選択肢(4) (自治体/企業・団体応援プログラム)

事業者名	サービス名称	買取単価(税込)	対象者・支払い条件等
丸紅ソーラートレーディング	地域応援プラン	買取の対価として、地域の特産品を選んで受け取り	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンクと提携
V-Power / トラストバンク	ふるさとエネルギーチョイス えねちよ	① 好きな自治体を選んで寄付：卒FIT電力を自治体（公共施設など）へ送る。 ② 好きな自治体を選んで寄付・売電してお礼をもらう：卒FIT電力を自治体（公共施設等）へ送り、その地域で使える地域ポイントや、特産品等を受け取る。 ③ 電力会社を選んで信託して、買取収益を得る：卒FIT電力を電力会社に信託し、電力会社はその電力を（JEPXやその他新電力に対して）小売・売電した収益を分配する。	
みんな電力	卒FIT買取プラットフォーム	買取量に応じて応援した企業・団体よりお礼品やクーポン券を受け取る	

情報は刻々変わっていきますので、上記の情報が古くなっている場合があります。意思決定される場合は各社ホームページ等で最新の情報を注意深く読み込んでください。図に示したものの以外に、東京電力パワーグリッド社は、「再エネおあずかりプラン」という仮想の蓄電池サービスを新たに始めます。これは、「ご家庭に蓄電池を設置しなくても、余剰電力を当社がお預かりし、他の時間帯にご使用したものとみなすプランです。蓄電池の設置にかかる初期費用やメンテナンスの負担が無く、余った電気でも電気料金を節約いただけます。日中の電気のご使用量が多いお客さまや毎月の余剰電力が多いお客さまにおすすめです。」と説明されています。利用するための毎月4000円の基本料金と利用できる電力量の上限が250kWhという条件があります。どの需給契約と組み合わせるか、余剰電力はどの程度でるかで個別に計算しなければ損得が分かりません。

詳しくは、東京電力エナジーパートナーホームページ

<http://www.tepco.co.jp/ep/notice/pressrelease/2019/pdf/190806j0101.pdf>もしくは、http://www.tepco.co.jp/ep/renewable_energy/plan.htmlをご覧ください。

卒FITの対象となられる方は、ご自分の事例で脳トレのつもりで計算に奮闘してみるのも良いのではないのでしょうか。（私もまだまだ蓄電池の初期投資は高いから、条件があえば電気代をもっと安くするのにこの「再エネおあずかりプラン」は簡便でお勧めだと一旦は考えました。しかしながら、この1ヶ月程のうちに立て続けで大停電をもたらした台風15号、19号を経験した後では、蓄電池が高すぎると本当に言えるのか、と考えが変わりました。太陽光発電には自立運転という強い味方がありますが、「再エネおあずかりプラン」はあくまで仮想の蓄電池サービスで、停電時の夜間に電気を供給してくれるリアルな蓄電池ではないことに留意が必要です）

以上のように、様々な事業者が色々なメニューで卒FIT電力の買取をオファーしていることがお分かりになったかと思います。支払い条件なども事業者によって異なります。事業者の名前も知っている会社もあれば、それほど知名度のない会社もあると思います。シビアに言えば、将来倒産してしまう会社もあるかもしれません。売った電力を支払ってもらえない可能性もありえます。

FITの制度が終了し、自由市場になるということはこういうことです。自分で情報収集し、自分の判断で決めなければなりません。ただ、情報が多すぎて満了日に間に合うように決められないという方には朗報ですが、現在ほとんどの方が売電している東京電力パワーグリッド社は、現在の契約約款上、価格変更に同意するならば、改めて申込み、再契約の必要がなく、従来の支払い条件で継続されるとのことです。意思決定が間に合わなくて余剰電力がタダで東京電力パワーグリッド社の電線に流れていくことだけは避けられるますので、焦らず意思決定できます。

令和元年10月21日 環境記者 林 彰一

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年10月23日

クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年11月13日

2019年9月は、北米ではハリケーン・ドリアンがバハマに壊滅的被害を与え、日本では台風15号が勢力最大時には955hpaまで成長、さらに今月12日には立て続けに襲ってきた台風19号がスーパー台風と呼ばれ一時は915hpaにまで発達。伊豆半島から福島を駆け抜け、想像を絶する洪水被害をもたらしました。

先月レポートしましたように、私も千葉県袖ケ浦市で台風15号による大停電の経験をし、地球温暖化、気候変動の深刻な影響を我がことと実感するようになりましたが、台風19号で日本人の多くが同じ思いを抱くようになったのではないのでしょうか。気候変動は現実で、いまや我々や未来を生きる子供たちは気候の危機に瀕しています。

こういう災害ムードの漂う最中の10月2日、3日の2日間、東京・お台場のホテル、グランドニッコー東京にて第43回クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニングが開催され、幸運にも選考に通り参加してきました。この研修は、ドキュメンタリー映画「不都合な真実」「不都合な真実2」等を通じ差し迫った世界的な問題である地球温暖化、気候変動の問題を世界に訴え、2007年にはノーベル平和賞を受賞した米国の元副大統領、アル・ゴア氏が立ち上げた「The Climate Reality Project」のプログラムの一環です。企業、自治体、NGO/NPO等の環境問題に取り組むリーダー達が日本国内だけでなく、海外からも参加し、総勢800名以上が1会場に集う大がかりなイベントでした。2日間、ホテルで缶詰め状態で濃密で様々なプログラムが展開されましたが、やはりハイライトすべきは、このために来日したアル・ゴア氏の2時間半にも及ぶ渾身のプレゼンテーションでした。

ここでの紹介は大変な長文になってしまいますので簡略にまとめます。ご興味がある方はレポートの全編を下記に掲載しましたのでご覧ください。

★第43回クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング

<https://bit.ly/2MHhYpk>

まずアル・ゴア氏が解説したのは温暖化のメカニズムです。それは世界中の科学者たちが導き出した結論である「化石燃料などの燃焼などによる人為的で爆発的かつ大量の二酸化炭素などの温暖化ガスの大気への放出が原因」を強く支持する内容でした。いまだ疑いを持つ人がいる地球温暖化、気候変動は本当なのかを、全体の3分の2ほどの時間をかけ、世界や日本で頻発する台風、ハリケーン、洪水、熱波、旱魃、氷河の消失と海面上昇などによる浸水、生態系への悪影響の具体例をこれでもかというほど紹介していきます。先日の台風15号や昨年関西空港を襲った台風21号の写真も盛り込まれ、日本人にも他所事ではないという現実を突き付けられました。あまりにも悲惨な映像・画像が続き、壊れてしまった地球への強い喪失感を抱き、涙がこぼれるほど感情が揺さぶられました。（それでもこの日からたった10日で凄まじい台風19号を経験するとは、その時は思いもよりませんでした）直前まで最新の日本のデータや画像を組み込む作業をしながら500枚を超えるスライドを2時間半にもわたって完璧に説明しきる知力と体力、情熱をもつアル・ゴア氏には感服するばかりです。

さらには、トレーニング修了者が同じようにリーダーとしてこのプレゼンテーションをハンドリングできるよう、また一般の方々にも聞いていただけるよう、上記の2時間半のプレゼンテーションを15分にまとめた短縮版を2日目に披露してくれたのにも度肝を抜かされました。15分でも十分伝わるのです。研修を終えたメンバーは、The Climate Reality Projectからアル・ゴア氏が今回行った約1.7GBものプレゼンテーションデータの使用权を付与され、さらには適宜必要に応じてスライドの追加、削除などが認められています。パワーポイントの1枚1枚のスライドのノートには、科学的なエビデンス情報・出典が満載で、自分で検証することもできます。アル・ゴア氏の直接の語りかけではなくとも、内容の再現性と品質は高く保たれると思います。

今回43回目にして初めて日本でトレーニングが開催されましたが、国外ではすでに150カ国、2万人ものトレーニング修了者がいます。気候危機について職場や地域の仲間を啓発し、時代遅れの政策を変えるため無償で活動することを期待されています。

私も身近なコミュニティでできるだけの機会を作って、紹介していきたいと考えています。



後列、一番左が本人

令和元年11月1日

環境記者 林 彰一

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年11月13日

「花交差点の仲間たち」花壇の植替え

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年11月22日

日時：令和1年11月10日（日）9：00～10：00

参加者：61名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口）国道沿い歩道花壇の植替えを行いました。

立冬が過ぎさすがに朝夕の冷え込みを感じるようになりましたが、当日は穏やかな小春日和となりました。

鈴ヶ森中学校の生徒たち5名が参加し7棟のマンションボランティアと一緒に手際よい作業で植替えはあっという間に終わりました。

東京国道事務所の立会いと大井警察署のご協力で事故もなく無事終わることができました。

花苗は8種類

- ① シクラメン
 - ② バンジー
 - ③ デージー
 - ④ ノースポール
 - ⑤ マーガレット
 - ⑥ ビオラ
 - ⑦ キンセンカ
 - ⑧ コレオステプス
- ・ルムチコーレ



東京国道事務所による花苗数量確認！



大森ハイツ



大森パークハイツ



大森海岸ハウス



ライオンズマンション大森



ライオンズマンション大森海岸



ライオンズマンション大森第三



日興パレス大森



鈴ヶ森中学校 7 年生と 8 年生です！ (*^▽^*)



風台風 15 号で倒れたブラタナス
中心が腐り空洞に・・
その中に植えました(^^♪

令和元年11月10日
真壁美枝子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年11月22日

できることから少しずつ～プラスチックごみ減量～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年12月04日

師走になり、品川区も寒くなってきました。

街ではクリスマスのイルミネーションが輝き始め、年末の気配が、、、

先日センター主催で、東京理科大学教授の二瓶泰雄氏による「海洋プラスチックの現状」という講座に参加し、改めて私たちの身近な所からたくさんのプラスチックが川や海に流入している現状を知りました。

我が家は普段からプラスチックごみを減らすために少しずつ出来ることをしています。エコバッグや水筒を持ち歩き、プラスチックの食品用ラップの使用もやめ、みつろうラップに替えました。みつろうラップとは、布にみつろうのコーティングをしたもので、軽く洗って何度も使えるラップです。こちら（下写真）は我が家で手作りしたもので、食べ物を包んだり、お茶碗に被せて使っています。



しかし、あまり意識していなかったのが、化学繊維のプラスチックごみです。二瓶氏が日本全国のあらゆる河川で行った調査によると、マイクロプラスチック(5mm以下のプラスチック)の中で、合成化学繊維も多いことが分かったそうです。これは、合成繊維の洋服を洗った際に出る糸くずやホコリだそうです。冬になると、私たちの身の回りにもフリースなどの化学繊維のアイテムが沢山ありますが、これらは洗濯すると繊維が下水へ流れてしまうそうです。

川や海へ流れ出たマイクロプラスチックは魚の体内に蓄積し、皮肉にも私たちの食生活に影響を及ぼしつつあります。日本の河川全てでマイクロプラスチックが見つかったそうです。遠い国のお話ではありません。



年末はクリスマスや忘年会といったイベントが盛んになります。使い捨てプラスチックをなるべく減らしたり、店頭で過剰な包装を断ったりするだけでも、ごみを少し減らすことができます。大掃除では、お掃除用具や洗剤

は環境に配慮したものを 選びたいですね。

一人ひとりが日々の暮らし中にあるプラスチック少しでも意識的になって、できることから始めることが大切だと感じました。

令和元年 12 月 2日

環境記者 岑山萌子

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年12月04日

八潮昆虫日記 ～12月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年12月24日

あと10日あまりで今年が終わる年の瀬。スマホの写真を整理してみなさんへご報告が漏れている数枚の写真を見つけました。

まずは雪の帽子をかぶった富士山（左下写真）。右下写真は富士山形、でも雪の帽子ならぬ横線をまとった頭が赤くてフサフサの触角を持った「ホタルガ」。なかなか堂々と壁に張り付いていました。



左下写真は、昔飛んでいた「コンコルドの茶色版」。矢の先についている矢尻に似ているからヤガ科の「アオアツバ」。真ん中写真の薄茶色のゲンゴロウ、はたまたモコモコのクリオネくんは色々調べてみましたが、特定できませんでした。最後に右下写真は「季節外れの蚊」ではありませんでした。「トリバガ（鳥羽蛾）」の一種らしい。エゾギクトリバ・ブドウトリバ・トキンソウトリバなど、幼虫は植物の花や茎を食べてしまう植物好きにはイヤな奴のようです。一般に嫌われものの蛾ですが、なかなか色々な形をしていること、インターネットや図鑑で実に多くの画像や写真がアップされているのにびっくり。ちょっぴり楽しい観察日記になりました。



秋から冬は茶色ばかりではありません。最後に空と植物たちの芸術をお楽しみください。





令和1年12月17日
環境記者 小滝静子

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2019年12月24日

下水道のはなし

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年12月24日

お台場の有明コロシアムの近くにある有明水再生センターと虹の下水道館を見学に行ってきました。下水道の仕組み・役割をスライドで勉強した後、実際に地下に通じる車用のトンネルを徒歩で下りながら、建物の地下に広がる施設を見学しました。なんと、隣にある有明テニスの森のコート下にまで施設は広がっていました。

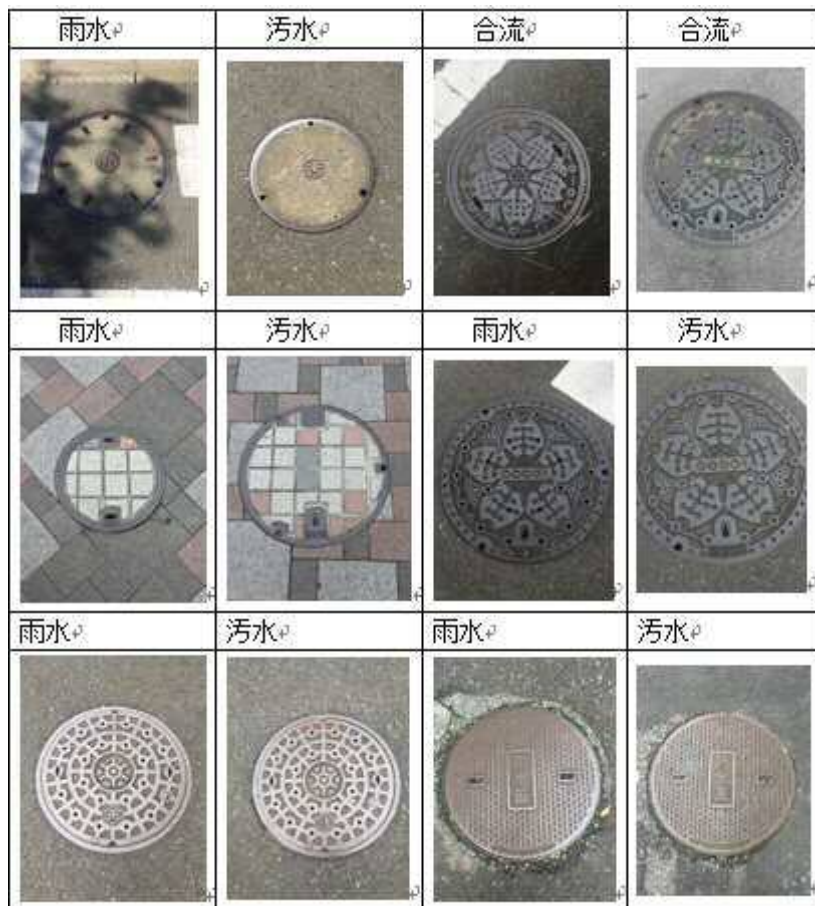
下水道のしくみ 下水道管は下水を集めて流し、ポンプ所で下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げ、下水を処理してきれいな水によみがえらせるところが水再生センター。

下水道の役割 快適な生活環境を確保し、浸水から街を守り、地球環境を守る。

有明水再生センターの特色 高度処理施設で今までの下水処理では取り除きにくいとされていた窒素やりんを除去。窒素やりんは東京湾での赤潮の発生原因だったそうです。処理した水は東京湾（有明西運河）に放流。一部はさらにきれいにして施設内機械洗浄・冷却・臨海副都心ビルのトイレ用水・ゆりかもめの車体洗浄用水へ供給。

(以上、有明水再生センターリーフレットより抜粋)

有明水再生センターで学んだ知識をもとに近所を散策しながら集めてみましたマンホール図鑑です。最近のものは設置年が記載されていますが、八潮界限は古いものが多いようです。



次に足を運んだのが鮫洲ポンプ所。公園になっている下に雨水貯留池が存在するということが、公園脇の看板にちゃんと記載されていました。



先の台風15号・19号それに続く豪雨では、今まで浸水被害のなかったところでの被害が報道されていました。一方、目黒川や立会川では避難所の開設はありましたが、大きな被害はなかったようです。東京都水道局のサイトの情報では、これら幹線整備は工事中となっていますが、効果が出ているのかもしれませんが、ただ、スペインで開催されたCOP25は温暖化対策協議が難航し、ますます自然災害が激甚化する可能性を否定できないようです。ただ不安を膨らますのではなく、人々が作りあげている対策への理解を深め、個人が出来ることにまず取り組むということで、油污れを極力流さない取り組みは開始しました。

<参考資料>

- ・有明水再生センター見学時資料

<参考サイト>

- ・東京都下水道局

<http://www.metro.tokyo.jp/kankyo/jogesuido/gesuido/index.html>

令和1年12月18日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年12月24日

こみゆにていぷらざ八潮にも紅葉が・・・

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2019年12月24日

遅ればせながら紅葉の報告をさせていただきます。
今年の紅葉は、9月の気温が高かったことから例年より遅くなるとの予想がありましたが、「かえでの紅葉日」（気象庁発表）は11月27日で平年と同じでした。
私の住む八潮地区でも、12月初めに素晴らしい紅葉を楽しみましたのでご覧ください。
（写真は、こみゆにていぷらざ八潮）



令和元年12月23日
環境記者 石田雅子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2019年12月24日

下水道のはなし（その2）

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年01月23日

先月、下水道のはなしを話題にしました。最近、図書館の新刊コーナーでちょっと面白い本に出会いました。題名は「荒廃する日本」、副題が「これでいいのかジャパン・インフラ」。著者は、国土交通省内で様々なインフラ整備に関わってきた仲間が集まって結成された「インフラ再生研究会」です。

第4章「下水道インフラ」は約20ページを割いて老朽化の現状と整備水準の不十分さ、そして将来像について述べられていました。どの章も写真と図表を大きく使って分かりやすく説明されています。今回は抜粋にて、さわり部分を皆さまへご紹介します。

4-1 急速に進む老朽化

全国の下水道管路の延長は、2017年度末時点で約47万キロ。標準的な耐用年数とされる50年を経過した管路は、1.7万キロ（約4%）。下水道管路に起因する道路陥没の発生数は、大規模な地震被害を覗くと年間で約3000件。（P86-87より抜粋）

4-2 見劣りする下水道整備水準

近代的な下水道の整備は、明治時代に始まった。時代の要請に応じて、その役割は拡大しつつある。日本の下水道処理人口普及率（汚水分）は2017年度末で78.8%。小規模な市町村を中心に、適切な污水处理施設を利用できていない。2014年時点で英国が100%、2016年時点でチリ100%、オランダ・ルクセンブルク・スイス・スペイン・ドイツが続く。アジアでは韓国が92%。

（P89-91より抜粋）

平成30年7月豪雨における、全国の浸水戸数は約2.8万戸、そのうち、内水による浸水戸数は約1.5万戸。その地域に降った大雨を河川等に排水するための下水道の能力に不足等があれば、浸水被害が生じ、これを内水氾濫という。また、1995年に発生した阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）を受けて技術指針が改定されたため、1998年度以降に建設に着手した施設は所定の耐震性能を有している。2017年度末の重要な幹線等の耐震化率は約50%、下水処理場の耐震化率は約36%。

（P94-98より抜粋）

4-3 下水道事業の将来像

施設老朽化に対する基本的な考え方は、①今ある施設をできるだけ長く使う、②改築更新を行う際にできるだけ低コストで実施する。国は2016年度から下水道ストックマネジメント支援制度を創設。国費の交付対象を定め、2022年度までに污水处理施設の広域化・共同化計画の策定を全都道府県に対して要請。

（P101-103）

下水処理場にはほとんど未利用の膨大な資源が集まっている。下水汚泥は燃料や肥料として高いポテンシャルを有している。また、下水はリン資源や下水熱といったエネルギーを持つ。現状の施設をできるだけ長く使うことは基本であるが、改築・更新時には新たな役割への対応をしてノウハウを持つ民間企業の参加も必要。

（P104-107）

<参考図書>

・「荒廃する日本」

著者：インフラ再生研究会

発行：日経BP

編者：日経コンストラクション

2019年11月25日初版

令和2年1月18日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年01月23日

しながわ区民公園 「もうすぐ春ですね！」

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年01月23日

1月18日（土）は今年初めて雪がちらつき、終日雨模様で寒い一日となりました。東京都心は朝5℃、正午は1.9℃で正午の気温としてはこの冬一番低く、日中の気温も2～3℃で非常に寒い1日でした。今日19日（日）は昨日と違って変わり朝から晴天、風もなく穏やかで（気温10℃）散歩日和でしたので、しながわ区民公園を散策しました。

園内南側（しながわ水族館周辺）はまだ改修工事中なので、中央にあるこども冒険広場や梅林などをめぐりました。今季は暖冬とはいえ1月中旬、小さな春を見つけられるか期待半分・・・でしたが

【蠟梅（ロウバイ）】

黄色い花が印象的 蠟梅（ロウバイ）の芳しい香りに一足早い春を感じました。

梅林内に数本あります。



蠟梅の名前の由来

- ① 花びらが蠟細工のようにみえ、花の形が梅の花に似ているから
- ② 陰暦の臘月（現在の1月）頃に咲く花だから

【白梅・紅梅】

数本小さな花をつけています。

梅の花を撮影するには青空が必須ですね！



園内の土手などで見つけました。

いずれも数輪で色とりどりにするにはまだ先になりそうです！

【水仙】



【オキザリス】



【芝桜】



【こども冒険広場・こども遊び場】

休日で良い天気ともなると親子ずれが大勢訪れ、賑わっています。
子どもたちの元気な声と笑顔に出会いました。



遊び場にある「ふわふわドーム」には、多い時には利用する子どもたち約300名にもなるそうです。

令和2年1月19日
環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年01月23日

春が来ていました。

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年02月02日

1月26日(日)、所沢市の所沢航空記念公園で咲いていた蠟梅（クスノキ目ロウバイ科ロウバイ属に属する中国原産の落葉樹）です。満開でした。



1月29日(水)、冬がないまま春になってしまったような陽気。休日によく散歩に立ち寄る東京都立小金井公園（東京都小金井市と一部が小平市・西東京市・武蔵野市にまたがる東京都立の都市公園で、面積は約80ha）では、梅の樹があり、すでに数本咲いていました。

1周するのに大人が普通に歩いて1時間程度かかります。いつも多くの方が訪れるところです。



令和2年1月31日
環境記者 小野文義

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2020年02月02日

早春の今

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年02月14日

今年は暖冬かと思っていましたら、2月に入って冬にもどり、2月6日の朝、冷え込みが厳しく「都心でも初氷が張った」と言うニュースに季節の異常を感じましたが、春の光も一段と輝きを増し、澄み切った青空が続いたので、早春の八潮団地内を歩いてみました。寒さの中、蠟梅・紅梅・白梅が青空に映え「凜」と咲いている姿はなんと綺麗なことでしょう。



可愛い『路の臺』がいっぱい・・・ 小さな春に出会え、感激でした。



桜の枝先もまだまだ硬く、餌をついばむすずめや野鳥のさえずりが冬枯れの公園に響きわたり、春はまだまだ遠く、吹く風も冷たかったけど、日差しに暖かさを感じました。



令和2年2月13日
環境記者 石田雅子

カテゴリ : 令和元年度

投稿日 : 2020年02月14日

「エコチル」知っていますか？

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年02月19日

図書館で面白いものを見つけました。品川区や東京都のお知らせのチラシが入っているラックにそれは収まっていた。目に止まった言葉は、「地球にやさしい子どもたち エコチル」。地球環境保全に積極的に取り組む子どもたちを育むとともに、家庭や学校内でのエコライフ推進を目的に、毎月76万部無料配布している環境教育情報誌、とのことだそうです。「エコチル」と検索すると、まず「エコチル調査」と出てきます。環境省が実施している子どもの健康と環境に関する全国調査のことで、2011年から10万組の親子が参加しているそうです。そして、その下には「エコチル東京版」その他のサイトが並んでできます。図書館に行かなくてもサイトでバックナンバーも読めるようになっています。

さて、東京版1月号では、再生可能エネルギーについての特集が組まれていました。イラストや棒グラフを使って簡単な語彙と表現で説明してあります。「太陽熱温水器を作ってみよう！」コラムもあります。無料配布なので、広告が多いのは仕方ありませんが、子どもの体験や学習・健康・環境に関するものを選別しているようです。一番面白かったコラムは、「多摩動物公園だより」のチンパンジーの子育ての記事。昨年2頭別々の親から誕生。片方はベテランママでもう一方はママ初心者。だから、放任主義の前者に、ひとときも放さない後者。ちなみにチンパンジーは子育てはメスの役目で離乳までには3-4年程度かかるらしい。次回、多摩動物園に行くのが楽しみです。あれっ、話が逸れてしまいました。

そして、2月号の特集は、「食品ロスを減らしていこう!」。日本全体で年間643万トン（東京ドーム5個分）の食品ロスについて、減らす工夫の提案や冷蔵庫の整理術、食品の保存方法、環境省のホームページのQRコード付きで「食品ロスダイアリー」の紹介もしています。家族で身近なところから環境問題を考えるきっかけとしてだけではなく、大人にとっても気づきを呼んでくれそうです。たまには、こんな情報誌も覗いてみてください。

<参考情報誌及びWEBサイト>

「エコチル」発行：株式会社アドバコム

平成25年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰（環境教育活動部門）

受賞、平成30年度新エネ大賞（普及啓発部門）新エネルギー財団会長

賞受賞

<https://www.ecochile.net>

<https://env.go.jp/chemi//ceh/about/index.html>

令和2年2月18日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年02月19日

八潮野鳥日記 ～2月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年02月19日

寒緋桜や河津桜があちこちで咲き誇り、街路は紅梅と白梅の花びらで、風が吹く前のひととき、華やかさを見せてくれます。八潮のいきもの日記、今回は野鳥に挑戦してみました。



まずは、枯れ枝でひと休みする太った「雀」。優雅に日向を歩いているのは「ハクセキレイ」。チチッチッと鳴きながら移動していました。右は、京浜運河で遊ぶ上から嘴と額が白い「オオバン」、全体に茶色で特徴ある風切羽の「ヨシガモ」、右下は「オオバン」、左下は画像不明瞭につき不明。



空に向かってシャッターを切ってみました。左はトビやミサゴ・ハイタカなどが野鳥公園で見られるようですが、遠すぎて特定できませんでしたが確かに猛禽類でした。そして中と右側は京浜運河の鮫洲橋で撮影した「ユリカモメ」。品川区の鳥です。飛ぶ鳥をカメラに収めるのは難しいですね。実は何枚も空の写真がありました（笑）。

最後に春を告げる華やかな花たちをご覧ください。

左上から河津桜・ヒイラギナンテン・紅梅・マンサク・オキザリス・蠟梅。



令和2年2月18日
環境記者 小滝静子

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2020年02月19日

海の中の温暖化、この貝に注目しています

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月02日

地球温暖化の影響と思われる現象が海の貝にも現れ始めています。

写真の貝はマガキガイで、南の海にはたくさん生息して食用にされている貝ですが、ほんの少し前までは三浦半島では死滅回遊 主に暖流に乗って本来は生息できない地域へと移動してしまい、季節が変わって水温が変化するとそれに対応できずに死滅してしまうとされ、冬の海水温の低下で小さい未成熟の状態ですんで打ち上げられていました。

この5年位の間 この貝が成熟して大人の貝 くらいまでに成長し、三浦半島や房総半島でも結構見られる様になりました。関東ではまだ数も少なく、食用できるまでには行きませんし、成貝にはなるもののまだ卵を産んで増えて行くまでの状態には見られません。しかし数が見られる様になれば、関東地方でも繁殖可能な状態になるまで海水温が上昇したと考えています。また最近行った千葉県館山でも温暖化の影響か、紀伊半島以南に生息するとされている貝も多種見られる様になって来ています。この貝、温暖化のバロメーターになるとあって、あちこちの海に行っては注目して観察しています。



マガキガイ 成貝と幼貝

令和2年2月22日

環境記者

青野 良平

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月02日

第38回環境記者情報交換会（中止）

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2020年03月06日

令和2年3月6日(金)に開催を予定しておりました第38回環境記者情報交換会の開催を中止とさせていただきます。理由は、新型コロナウイルスに関連した肺炎が発生しているため、ご出席者の安全面を配慮してのことです。

なお、紹介できなかった記事は環境情報活動センターのホームページでご覧になれます。
<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=20>

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2020年03月06日

大井ふ頭中央海浜公園、心なごむ風景

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月09日

3月はじめの夕方、もう少しで日が沈みます。ちょっと公園を歩きました。



浅瀬に様々な野鳥がいて何かをつまんでいます。



静かな波の音と野鳥の影が夕日とあいまって、どこか懐かしく心地よい時を与えてくれました。

令和2年3月4日

環境記者 小野 義文

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月09日

八潮野鳥日記 ～3月～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月16日

先月「ユリカモメ」と出逢った鮫洲橋で、「アオサギ」が羽を休めていました。思わずカメラに収めました。皆さまにその勇姿が伝わると良いのですが・・・。



「アオサギ」だけでは寂しいので、私の散歩道で出逢った野鳥仲間の「メジロ」と珍しい花たちもご披露します。メジロが遊んでいた場所は、立会道路の東京品川病院の裏手。



同じ立会道路の旧・薩摩鹿児島藩島津家抱屋敷跡の公園では、紫色の花が咲き乱れていました。名札には「ハーデンベルギア」と書かれていました。黄色の「ミツマタ」は天王洲アイルにある顔料などの画材専門店「PIGMENT

TOKYO」の入り口付近と寺田倉庫側の植え込みで咲いていました。



令和2年3月10日
環境記者 小滝静子

カテゴリ: 令和元年度

投稿日: 2020年03月16日

私の散歩道 ～桜～

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月31日

桜ちる 花のところは 春ながら

雪ぞふりつつ 消えがてにする

＊ ＊古今和歌集 承均（そうく）法師 ＊ ＊

3月29日（日）、品川区にも春の雪が降りました。桜の花が先週よりあちこちで咲き始めていたのに……。散歩をしながら、撮りためた桜の花たち、今週も逢えますように！と願いつつ、並べてみました。

1) 東京品川病院界隈



2) 天王洲アイル・東品川海上公園界隈



3)しながわ区民公園・鈴ヶ森界限



4)みなとが丘ふ頭公園・京浜運河緑道公園界限



5)八潮団地・こみゆにていふらぎ八潮界限



京浜運河緑道公園を通過して、みなとが丘ふ頭公園へ足を延ばした日に、緑道公園の池でカルガモが出迎えてくれました。「みなさん、こんにちは。カルガモの僕と僕の仲間が待っています。遊びに来てください！」

令和2年3月29日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和元年度

投稿日：2020年03月31日